

ドイツ連邦食料・農業省プレス公告
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 39

NO 39

2016・9・30

1 エボラ出血熱との闘いを国際研究プロジェクトが支援
ードイツがシエラ レオネに2億160万円を提供ー

西アフリカにおいて 2014/15 年度のエボラ出血熱の発生は、この歴史においてこれまで最も多いとされている。11,000 人以上の人々が、自らの命を失っている。連邦食料・農業省は、今このテーマについて国際共同プロジェクトを、奨励している。このプロジェクトの目的：目的とする研究によって、より良い備えを。

連邦大臣シュミットは、ベルリンで9月27日に168万ユーロ（約2億160万円）の額の補助通知を伝達した。シュミット大臣と同僚大臣であるシエラ レオネの Monty Patrick Jones 教授に、これを手渡した。彼の国は、2014/15 年にエボラ ウイルスの発生に、最も強く該当している。

エボラ出血熱の見通し：エボラ ウイルスの感染源として家畜ーペットー野生動物が重要と、3年間実施された研究プロジェクトのタイトルに記されているう。

このプロジェクトは、連邦農業省の管轄に挙げられている動物の健康に関する連邦研究所、フリードリッヒ ローエフラー研究所 (FLI) によって、調整されている。パートナーは、シエラ レオネ農業調査研究所と並んで、Njala 大学、シエラ レオネ農業高校、パスツール研究所（基金）である。これらは連邦農業省から最初に奨励された研究プロジェクトに、研究パートナーとして参加している。

目的：エボラ出血熱の発生に際して迅速かつ目的を定めた対応

サハラ以南のアフリカ

連邦農業省は、サハラ以南—アフリカ地域における緊急な問題を解決するために、既に数年前から研究支援に貢献している。その際、連邦農業省は特に以下のテーマに視点をおいている。

- ◎ 持続的、資源効率強化による農業生産の向上
- ◎ 収穫後の食料の大幅な損失の回避
- ◎ バランスのとれた欠陥のない食料の意味における食の安全と食料の品質改善
- ◎ 動物の健康改善と動物の伝染病との効果ある闘い並びに病原の早期同定

連邦大臣シュミットは、補助金通知の伝達に当たって、将来の動物原生感染症—発生に際して、早急にそして目的に合致して反応できることを、このプロジェクトに期待している。エボラ出血熱は、動物から人間に感染する病気である。その際、新しい感染源を保有する動物とウイルス媒介生物として、様々な動物の種が用いられた。人間は、様々な寄主動物の役割と正確な感染方法を、しっかりと確認すべきである。使用に耐えられる予測方法と効果的な予防対策を講ずるために。”ここでは、研究計画が新しい知見を提供する”と、シュミット大臣が述べた。

2014/15 年度のエボラ出血熱—流行病もまた、くい止められることができたとき、さらにいつ発生を繰り返されるのか、その予測は難しい。このプロジェクトはこの国での答を見い出し、そしてさらに継続する研究のために、科学的に高価値な基礎を創りだす。これは、可能性のある感染源—経路を研究すること、簡単に取扱いできるテスト方法を普及させること、現地での共同者にこれの利用訓練を、目的としている。

このプロジェクトの領域において、連邦フリードリッヒ ローエフラー研究所の新しい高度安全実験室もまた、Riems 島で使用される。連邦農業省の研究成果の実践可能なことを、目指している。参加している国内外の農業—食料研究施設の間で、長期的な受入れ可能な協力強化に、価値をおいている。

連邦農業省は、シエラ レオネとの間の共同活動を深化させる。また、連邦農業省は、西アフリカの国との共同活動を、プロジェクトでもって強化する。昨年 12 月以来、既に両方で G7/G8 一国連携を結んでいる。この施設は、連邦農業省が FAO とシエラ レオネそしてドイツの間で、イニシアチブをとった。特別な連携は、地域住民の土地権利を強化するために、改善された立法と管理実践を通じて支援する。

なぜならば、シエラ レオネにおける約 3/4 は、土地利用の係争で訴訟手続きに該当している。土地への出入りと確定した土地権利は、この国の農村住民が生き延びるための食料確保にとって、重要である。その上、この国は経済的成長と貧困との闘いのために、早急な投資を必要としている。その際、FAO はパートナー国とともに、シエラ レオネの政府を援助している。つまり、責任あるそして持続的な農業投資のための、法的、行政的な前提条件を創り出す。2013 年の G8 決定に基づく共同活動は、次に「任意のガイドライン」の実践に際して、G8 が発展途上国を支援する。

2 2 0 1 6 年度ドイツ園芸革新賞の決定

ドイツ連邦食料・農業省の政務次官 Dr.ヘルマンが、9 月 29 日ベルリンでドイツ園芸デーで、ドイツ園芸革新賞を決定した。受賞者は、ドレスデンの企業・キューネ・ユンゲプランツエン社の「アジサイ品種」、シュパリエシホープの有限会社の「香りのバラシリーズ」、シュトットガルトのゲオルグシュナイダー社の「アップルジュース」である。

この賞は、1997 年以来連邦農業省を通じて毎年授与され、総額 15,000 ユーロ（約 180 万円）の賞金を授与している。政務次官は、賞授与に関連してこの分野の重要性を強調した。”園芸は、農業における重要な分野である。園芸は、面積単位当たり最も高い価値生産、就業そして教育に貢献している。そして群を抜いて最も大きな生産多様性をもっている。”そのため、我々の目的はドイツ及び国際的な流通関係の中で、効率的で競争力のある分野として、園芸を確立することである”と、政務次官が述べた。これに加えて連邦省は、幾つか指摘している。

政務次官の挙げた手本を各部門と共同で検討し、そして 2014 年に「将来戦略園芸」を公表した。さらに連邦農業省は、重点として将来テーマ革新をさらに発展させ、そして 2017 年半ばまで園芸における革新のための、特別な戦略の発展に投資する。同時に研究奨励を、目的を定めて設定する。コンクール応募者は、どのような分野においてポイントをあげるべきか？特に審査委員会の視点は、以下の事項がおかれれている。

- ◎ 革新的な高品質性
- ◎ 園芸経済における革新の重要性
- ◎ 実践的な適用
- ◎ 市場チャンス
- ◎ 他の経営モデルとなる特徴

表彰の内容：

カテゴリー 1 植 物

① キューネ・プランツエン社 アジサイの新品種「Diva Fiore」

アジサイは、部屋一園芸植物として観賞用作物栽培において、高価値な花として需要がある。

特徴：この品種は少なく、非常に古い品種 寒さに強く年に数回咲く（返り咲き）お客が望んでいるように、まさにこの非常に古い種は、大抵コンパクトには成長せず、鮮やかには咲かない。

このため、この品種を改良し新しい種「Diva Fiore」を、キューネ会社が開発した。この会社は、返り咲きの重要な特性、際立った寒さへの強さと近代的、魅力的な外観と結びつけた。そのため、Die Fiore は、消費者のために著しく魅力ある、眞の革新を意味すると、審査委員会が認めた。

② 有限会社・コルデス ローゼンスクール 「香りのバラシリーズ」

コルデス会社は、世界規模で先導するバラ育種組織に挙げられている。黒星病とウドンコ病に対する抵抗性をもった、葉の健康なバラの育種に成功したため、殺真菌薬無しに栽培を一貫した育種園に切り替えできた。最初の限度ある育種素材は、育種のために活用された。粘り強い育種作業でもって、新品種の育成に達した。

病気に対する重要な抵抗力と並んで、非常に複雑な特徴としての花の香りもまた、育種的に成功させた。この卓越した成果は、花の強い香りをもったパヒューマ香りのバラシリーズである。

審査員の意見：この重要な観賞用植物の栽培のために、説得力のある成果の大きな育種である。

2 カテゴリー共同／経営組織と企業構想

① ゲオルグ シュナイダー社 新たなりんごジュース製造と情報伝達

表彰されたのは、革新的なりんごジュース産物の成果ある構想と、市場導入である。赤い果肉の観賞用りんごからの改良種と、少し酸味のある味をもった黄色果肉の栽培りんごによる、りんごジュースを開発した。これは、若い人々にアピールしている。巧みなマーケティングによって、典型的なりんごジュース市場外における対象グループが、アルコールなしのトレンドな飲み物の産物を、手にしている。

この家族企業に関して販売奨励活動、産物見本とマーケティング要素を伴った、そして労力のかかる、練り上げられた情報伝達構想は、素早いイメージ強化のために配慮している。この革新賞は、構想の手本とすべく特徴を評価している。食品の流通において増大する競争に直面して、次の挑戦を行っている。新しい産物に関して、プロとしてそして調整されたマーケティング手段でもって、明確に対象グループに焦点を当てた。

”この事例は、新しいマーケティングそしてコミュニケーションの方法での可能性を示している。しかも販売構想は、他の分野にも参考とし得る。このことは、園芸の新しいアイデアとトレンドな販売方法を、他にも波及させねばならない事を、示している”と、審査委員会が意見をのべている。

2016・10・3 訳

青森中央学院大学

中川 一徹